

平城遷都1300年記念

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



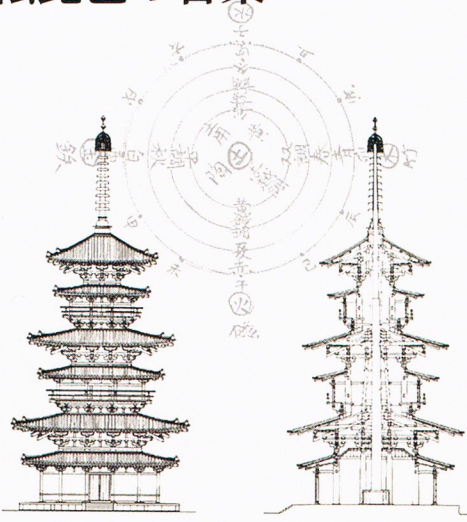
正倉院復元楽器による

薬師寺 東塔と西塔の音楽

薬師寺東塔平成解体修理記念

第62回「正倉院展」記念

五絃琵琶の音楽



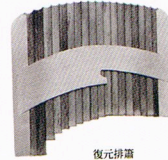
Creative Tradition

2010年は、古都奈良が大変賑やかな1年です。
平城遷都1300年、光明皇后1250年御遠忌記念、第62回正倉院展、薬師寺東塔平成解体修理等々。
平城京の時代、古代シルクロードから流入した大量な音楽文化は、
平成の今より、はるかに賑やかな音楽文化であったことは、正倉院に伝承される多くの楽器からも想像できます。

本CDの演奏楽器 正倉院復元五絃琵琶、排簫(はいしょう)、方響(ほうきょう)の3種類の楽器は
平安雅楽に取り入れられなかった楽器です。
西暦701年、大宝律令、歌舞寮(うたまいのつかさ)が編纂した楽制改革は約200年かけ、平安雅楽を確立する。
正倉院に残された多くの楽器は、平城京以後、日本音楽史の流れから抹殺されたごとく昭和、平成の復元まで
千数百年眠っていた楽器でもあります。

<ゆらぎ1300>は、第62回「正倉院展」出展御物＝正倉院螺鈿紫檀五絃琵琶のための新曲として発表されました。
正倉院五絃琵琶は、世界で唯一伝承される古代リュート属の貴重な楽器です。
平安期での演奏記録は残されているが、その音色を私たちは聴くことが出来なかった楽器の一つです。
奈良国立博物館 西山厚氏が、この新曲を聴いた瞬間、「心がゆらぎました」の一言が曲名となりました。
正倉院文書、紙背に一枚の「天平琵琶譜」が残されています。四絃琵琶の書き損じた譜面です。
光明皇后がその「天平琵琶譜の音」を聴いて、「心がゆらぎ」国家珍宝帳、東大寺献納を決心する
「聖武天皇が愛した琵琶」一人語りを数年前に書きました。
音楽が「人の心をゆらす」ことは古今東西、多くの名場面を演出したことでしょう。

<さいらい>は、薬師寺東塔平成解体修理の記念に作曲されました。



復元排簫

「薬師寺東塔が1300年の永きに渡りこの世を見守ってきましたが、
今年解体修理の為に、
一時姿を消すことになりました。また、これとは逆に1300年前に演奏者を失い、
姿を消した楽器に「排簫(はいしょう)」があります。正倉院復元楽器として
1300年ぶりに今回演奏が蘇ります。

両者の文化は、「西来(さいらい)」「(西からやって来た)し、今年去るものとしての東塔、
そして今年来るものとしての排簫、去るものへの「再来(さいらい)」を願い、
1300年前の「東の音階(春・青)」を使用して、東塔の再来の願いを曲にしてみました。」

—作曲者 岳人山一

東の音階とは「管絃音義の世界」。鎌倉時代の楽書にある古代日本の形而上学です。
都市計画から音楽理論、文学までにおよぶ文化マニュアルが網羅されています。
東西南北の音楽理論は季節感でもあり、素材の選定から音階の決定まで義務づかれています。
さいらいも、排簫は東の素材「竹」の楽器であり、
その音にตอบสนองする方響は西の素材「鉄」で出来た金属打楽器です。

<纏漣の響き>は「管絃音義の世界」を、正倉院復元五絃琵琶、排簫、方響のトリオ曲として
作曲家石井眞木が1986年に国立劇場で発表した曲。
神韻纏漣(しんいんひょうびょう)という四字熟語があります。
その意味は、芸術作品の持つ、形容しがたい奥深く優れた味わいのこと。
「神韻」芸術作品などの、人間の作ったものとは思われないようなすぐれた趣。
「纏漣」かすかで果てしなく広いさま。仏の心のように。

曲構成は、序奏—冬—春—中央—夏—秋—回帰の7つのパートから構成されている。
序奏から春まで排簫、方響による音の掛け合いは、古代楽器の特性を生かした絶妙なコンビネーションで続き
中央部分で登場する五絃琵琶をより引き立てます。
夏から秋へと五絃琵琶の参入により、排簫がグリッサンド奏法を交え曲を盛り上げ、最後の回帰へととなります。
まさに春夏秋冬のごとく、何事にも邪魔されない普遍的な時間の流れを内包する音楽です。
故石井眞木は、
千数百年前の音楽文化から、この曲の創造的イメージは未来へと拡がっていきと書き残しています。
正倉院に残された管楽器＝排簫、絃楽器＝五絃琵琶、打楽器＝方響の
3種類の古代楽器を見事に現代音楽作品とした。

仏様は音楽がお好き。数多くの「阿弥陀来迎図」に見られるように、
西方浄土より、古代楽器オーケストラによる音楽を奏でながら、阿弥陀様は私たちをお迎えに来てくれます。
音楽で仕事をしている私には、それがどんな響きなのか、、、たいへん楽しみです。

2010年10月 野原耕二

正倉院復元楽器による

五絃琵琶の音楽 薬師寺 東塔と西塔の音楽

- ① <ゆらぎ1300> 五絃琵琶のための 2010 作曲:西垣林太郎 五絃琵琶:西垣林太郎 4'10"
- ② <さいらい> 排簫と方響のための二重奏 2010 作曲:岳人山 排簫:岳人山 方響:三咲順子 4'22"
- ③ <縹渺の響き 作品69-3> 排簫、五絃琵琶、方響のための 作曲:石井真木 1986年 14'20"
排簫:岳人山 五絃琵琶:西垣林太郎 方響:三咲順子
- ④ <さいらい - 薬師寺奉納演奏版> 排簫、方響とシンセサイザー 4'45"
排簫:岳人山 方響:三咲順子 シンセサイザー:岳人山

西垣林太郎(にしがきりんたろう)ギターリスト

ギター演奏コンクールで多くの賞を得て全国各地で演奏活動。フランス国立ニース音楽院にてアコ・イトウ、アンリ・ドリニに師事。フランス、イタリア各地で演奏活動を行う。フランスの音楽学校での指導、試験審査員に従事。帰国後は、クラシック、ジャズ、古楽などの多様な編成やソロでの演奏活動を展開。モダンギター以外にもバロックギターやロマンティックギターを用いた公演も積極的に行うと同時に、新作初演にも数多く参加。録音や映像収録への参加も多い。古代エジプト復元リュートや正倉院復元の四絃と五絃琵琶の演奏も手がけ、「コンサートジェネシス」、「正倉院の響き」、「千年の響き」各シリーズや、朝日放送正倉院展特別番組「天平の音」などに出演。2010年第62回正倉院展用音声ガイドの五絃琵琶曲(ゆらぎ1300)の演奏・作曲も手がける。

岳人山(かくじんざん)尺八奏者

幼少の頃より父橋本恒山より尺八の指導を受け、1977年に高瀬仙山師に師事。1986年都山流尺八全国コンクール金賞受賞、文部大臣賞受賞ほか多数の受賞歴を持つ。U S A、オーストリア、旧ユーゴスラビア、オランダ、中国、韓国、インドネシアなど世界的にも演奏活動を行う。2003年にファーストアルバム「風」をリリースし、尺八とシンセサイザーの演奏活動を開始。2008年胡錦濤中国主席の御前演奏を担当。尺八を世界に通じる独立した楽器として演奏したいと独自の活動を展開中。

三咲順子(みさきじゅんこ)女優/音楽家

東京都出身。国立音楽大学卒業。1992年度東京きもの女王に選出。テナーサクスをクレイジーキャッツの安田伸に師事。在学中より舞台(胡桃・私が愛したハムレット、はるちゃん、オーロラ宮異聞、チャーホフ短編集、リア王等)や、TV(徳川慶喜、壬生義士伝、よろずや平四郎活人剣等)で女優として活動。CM出演。又、雑誌美しいキモノのモデルや小椋佳コンサートに出演。2003年より、ピアノを弾き、演じる、独自のスタイル「一人語り」をライフワークとして各地で上演

